



この国の色たちに
私はずっと、ときめいていた。



至福のゴールド
【Happiest Gold】

Meet Colors! 台湾



訪台旅行者数、200万人達成へ尽力

台湾交通部観光局の周永暉局長、台湾観光協会の葉菊蘭会長を団長とする200名超の代表団が「ツーリズムEXPO ジャパン」の開催に合わせて来日し、帝国ホテルで「台湾観光ワークショップ&セミナー」ならびに「台湾観光の夕べ」を開催した。当日は、田川博己日本旅行業協会(JATA)会長、丸尾和明JATA副会長、志村格JATA理事長をはじめ、日本側からも約200名、日台総勢約400名が参加。この席上、周台湾交通部観光局長は、年末に向けた新キャンペーンを発表し、「日本からの訪台旅行者数を1日も早く200万人に到達させたい」として、日台関係者に緊密な連携と支援を呼びかけた。

周台湾観光局長、200万人達成に意欲 3×3×3キャンペーン、200万人目に豪華賞品

訪台200万人達成に向けた新キャンペーンは、11月中旬からの3ヶ月間、3人で3泊以上の台湾旅行をすると、一人あたり3000円相当のサポートするという新企画。

この「3×3×3キャンペーン」は、台湾と日本の「3熊」からアイデアが生まれた。3熊とは、台湾観光局のPRキャラクターの「オーション」、高雄市観光局の「ヒ-

ー灯台の道を走り抜けるなど、「歴史を感じるコースになっている」として、「スポーツと観光の融合をめざす」。

2018年の「海と湾の観光年」には、『世界で最も美しい湾クラブ』の総会が澎湖島で開かれる。同クラブは、フランスに本部を置くNGOが主催、ユネスコが後援しており、日本からも複数の湾が加盟、台湾で



台湾交通部観光局の周永暉局長

ロー、熊本県の「くまモン」の3熊。この3熊にちなんだ新キャンペーンを展開することで、年末に向けて訪台需要に弾みをつけたい考えだ。

また、周局長は、「1日も早い200万人達成をめざし、200万人目のお客様には様々な豪華プレゼントを用意する」として、200万人到達記念として、日台間の往復航空券、5つ星ホテルへの宿泊券、台湾製の高級自転車のプレゼント、「オーション」による出迎えとキャラクターグッズ詰め合わせ、特製オーション弁当などをプレゼントすると発表した。

その上で周局長は、「3×3×3キャンペーンにも通じるが、観光を成功させるには、観光施設やホテルをはじめとするサプライヤーのパワーと、地方自治体のパワー、そしてJATAなどの関連団体のバックアップが必要。この3本柱でさらなる高みをめざしたい」として、関係者と協力し、今年200万人を突破したいと改めて強い意欲を示した。

『台湾ツーリズム2020』策定 エコツーリズムと地方テーマ

周局長が台湾交通部観光局長に就任してから1年。2017年は「Meet Color's 台湾」をテーマに、長澤まさみさんをイメージキャラクターとしてカラフルな台湾の魅力を紹介してきたが、2017年～2020年までの4カ年の新観光戦略『台湾ツーリズム2020』を新たに策定した。

この戦略に基づき、「地方」や「自然」、エコツーリズムなどに焦点を当てたプロモーションを2020年まで展開していく。

今年来る11月19日に「澎湖島マラソン」を初開催する。これは、離島を走り抜けるマラソンで、来年2018年の「海と湾の観光年」の先駆けとなる。台湾で最も古

いは澎湖湾が加盟している。また、台湾には10の離島があり、離島の魅力についても今後発信を強化していく方針だ。

2019年は、台湾の田舎で過ごす「スローライフ」「ロハスな旅行」を楽しむ観光年に位置付ける。台湾では今年より、『客家ロマンチック街道』のPRをスタートさせたが、その街道沿いにもスローライフやロハスな旅行を楽しめる場所は多く、腰を据えたPRを行っていく。

さらに、2020年は「台湾の山脈年」として、山の魅力をフィーチャーしていく。台湾の5大山脈には3000m級の山が実に280もあるほか、日本でも有名な阿里山山脈などもあり、その魅力を伝えていく。

こうした4カ年計画とともに、四季折々の祭りやイベントも充実させる。春には、恒例の台湾ランタンフェスティバルを開催、来年は3月2日～11日に嘉義を中心に開催する。夏には、夏至の北回帰線を通るお祭り、秋には自転車カーニバルを開催し、「天候に恵まれる秋に“自転車の乗るなら台湾”と思い出してもらいたい」とPRした。そして冬には温泉グルメカーニバルを開催し、台湾に19カ所ある温泉を楽しんでもらう。

葉台湾観光協会会長 客家ロマンチック街道をPR

台湾観光協会の葉菊蘭会長は、「各地方の特徴や特典を用意し、200万人の到来を準備しているが、200万人を迎えるためには変化も必要。新しい商品の企画と、商品の多様化が必要」として、『客家ロマンチック街道』をテーマにしたツアーの企画造成や販売を後押ししていく方針を表明した。

『客家ロマンチック街道』とは、台湾の国道3号線沿いに広がる桃園平鎮から台中新社までの約150kmのことで、沿線には客



左から丸尾JATA副会長、周台湾観光局長、葉台湾観光協会会長、田川JATA会長、志村理事長

家の集落が続いている。そこには、客家の先人達が200年余りにわたって開墾してきた歴史、文化、産業があり、東方美人茶や米食文化、茶畑、アブラギリの白い可憐な花などの魅力があるほか、台湾鉄道新竹駅を起点とするローカル線「内湾線」が27.9kmにわたって走っており、ロハスな旅行を体感できる。

葉台湾観光協会会長は、「とくに日本からの旅行者は都会を訪れる人が多いが、地方への旅行者はまだ不足している」として、『客家ロマンチック街道』をテーマとした新商品開発を促すほか、自転車、離島、山脈の魅力に触れるツアーなどの造成を促進することで、台湾旅行を多様化していき



台湾観光協会の葉菊蘭会長

い考えを示した。

また、葉会長は、「昨年の日本からの訪台旅行者数は189万人、台湾からの訪日旅行者数は429万人で、日台間の交流人数はアンバランス。アンバランスを解消するために常に努力しているし、今後も時間はかかるが努力していきたい」と改めて決意表明

するとともに、日本側関係者にさらなる支援を求めた。

その上で、葉会長は「200万人という共同の目標をめざし、今こそ是非一緒に頑張りたい」と力強く宣言した。

田川氏、200万人へ努力 丸尾氏、旅行会社通じ送客拡大

来賓挨拶した台北駐日経済文化代表処の謝長廷大使は、「この1年で、台日間の双方向の旅行者数は600万人に達した。600万人とは、すごい数字ではないか」として、台日間の双方向交流が年々拡大していることを喜んだ。

謝大使は、「台湾からの海外旅行先で、日本は最も人気の高いデスティネーション。また、日本人にとっても台湾は親近感が高く、安全で、人気の旅行先」として、双方向交流がさらに拡大することを期待した。

日本側の来賓として挨拶した田川博己JATA会長は、「200万人という目標がある。今年の訪台旅行者数は191万人ぐらいの予想があり、あと9万人をどう積み上げるか」として、会場に集った関係者それぞれが努力を積み重ねる必要性を強調、連携を呼びかけた。

また、葉局長が指摘した台日交流のアンバランスについては「十二分に承知している」とした上で、「アンバランスの解消に向けて、全力を挙げて努力したい。まだまだ新しいテーマが日本、台湾の双方にあると認識しており、『客家ロマンチック街道』による商品開発も新しい流れにつながるのではないかと期待感を示した。

丸尾和明JATA副会長は、「台湾には自然や文化の多様な魅力がある。旅行会社を通じた日本からの送客拡大に取り組む」として、さらなる相互交流拡大を祈念した。

台湾観光局・台湾観光協会は準グランプリに

「ツーリズムEXPO ジャパン」ブースグランプリ

「ツーリズムEXPO ジャパン」の台湾ブースでは、「Meet Colors! 台湾」をテーマに台湾のカラフルな魅力が紹介され、業界日には熱心な商談が行われたほか、一般日には連日大勢の来場者が足を運んだ。こうした取り組みが評価され、今年の「ツーリズムEXPO ジャパン」のブースグランプリでは、台湾観光局・台湾観光協会が準グランプリを受賞。授賞式では、鄭憶萍台湾観光局・台湾観光協会東京事務所長らが笑顔で表彰された。



客家ロマンチック街道を往く

「客家ロマンチック街道」とは、桃園、新竹、苗栗、台中という4つの県・市を結ぶ約150キロメートルにわたる街道のこと。その間には、16カ所もの客家の集落がある。客家の人々は、200年余りにわたる開墾の歴史の中で、独自の生活や食文化、芸術、産業を育んできた。山間部や溪谷沿いに広がる豊かな自然、どこか懐かしい景色の中に、客家の人々の足跡を辿る旅に出たい。(写真提供:台湾観光局、行政院客家委員会)



白く可憐なアブラギリの花

白く可憐な花を咲かせるアブラギリ(油桐)は、春から初夏にかけて咲くことから「5月雪」とも呼ばれ、客家文化を象徴する花となっているが、かつては客家の人々の暮らしに欠かせない商業作物だった。今では毎年4~5月に、各地で「客家アブラギリ祭り」(客家桐花祭)が開催される。人気のお花見スポットや、花を楽しみながら散策できる古道もあり、花に包まれた客家の集落をゆるりと散策できる。

また、客家にはお祭りも多い。「客家アブラギリ祭り」のほか、9月の「全国義民祭」、12月の「客家伝統戯曲收冬戲」など、年中行事に合わせた祭りでは昔ながらの客家の風習に触れられる。

独特の食文化、名産品

客家の人々は、山間部や丘陵地などの自然環境が厳しい土地を流浪した歴史から、漬け物、菜脯(切り干し大根)などの乾燥食材など、さまざまな保存食を発明してきた。しかも主食は米で、日本人にとってはどこか懐かしく、でも日本食とはまた違った客家ならではの食文化を体験できる。

客家の名産品と言えば、お茶。新竹、苗栗などで作られる東方美人茶は、果物と蜂蜜の香りが特徴。ゴマやピーナツなどをすり潰してお茶に加える客家独特の飲食スタイル「擂茶」(レイチャ)も是非体験してみたい。また、焼いた干し柿「柿餅」も客家の名産で、シーズンには大地がオレンジ色に染まる。



ローカル線の旅

「客家ロマンチック街道」をのんびりと旅するのに最適なのが、ローカル鉄道。車窓を流れるどこか懐かしい山里の景色や、素朴な駅舎の佇まいに、思わず郷愁が誘われる。

台湾鉄道の新竹駅を起点とする全長27.9キロメートルの「内湾線」は、台湾でも人気のローカル線。終点の「内湾駅」は、林業や炭坑業で賑わった時代の面影を残し、近年のレトロブームで内湾老街での散策も人気だ。

各駅の近くでは夜市や朝市が開かれたり、サイクリングロードなども整備されている。1日乗車券(95元)で沿線をゆっくり散策するのもいい。



苗栗南庄

古い家並みが残る「南庄老街」は、ぶらり歩きの楽しい散策スポット。人が行き交うのもやつの狭い路地には、所狭しとお店が並ぶ。客家特産のキンモクセイを使ったお菓子や、白玉団子入りの特製かき氷などもあり、食べ歩きも楽しい。

日本統治時代の1900年に建てられた「南庄郵便局」は日本式建築。1905年創建の廟「永昌宮」など、歴史的建造物も多く残る。

また、老街の入り口にある「百年洗衫坑」は、かつて女性達が果物を洗ったり、洗濯をした水場で、当時の生活の一端を見られる。

周永暉台湾観光局長インタビュー

■200万人への思い

日本と台湾の友好関係、近さを考えると、必ず達成しないといけない目標だと考えている。私はその達成に自信がある。台湾から日本へ多くの旅行者が訪れているが、みな日本が大好き。同じように、日本の方にも台湾の人々はとても温かく、親切で、海外旅行に行きたいと思った時には一番に台湾を思い浮かべて欲しい。

台湾旅行には、3つの大きな特徴がある。1つは、台湾には沢山の色々な風味のグルメがあり、本当に美味しい中華料理は台湾にある。2つ目に、台湾には日本の名産を残した観光地が沢山ある。そして3つ目に、台湾が最近力を入れているのがエコツーリズム。これは観光にとって大事な要素。エコツーリズムで成功しているのは欧州だが、日本から一番近くてうまく取り組んでいるのが台湾だろう。

台湾は日本にとって一番近い友達であり、是非多くの方々に台湾に来て欲しい。

■地方への誘客

初めての台湾旅行なら台北に行くと思うが、2回目に台湾を訪れる時には、台北以外の観光地に足を伸ばしてほしい。

例えば、台北から1時間以内で行ける宜蘭県には、「亀山島」という離島があり、美しい景色や温泉がある。

また、屏東県にある「小琉球」という島は、90%以



上がサンゴ礁でできており、その小琉球へのフェリー乗り場がある「東港」はクロマグロで有名。そうした多彩な魅力を伝えて、リピーターには台湾各地を訪れて欲しい。

毎年各地で開催している「台湾ランタンフェスティバル」も、地方に行ってもらいたいきっかけにはなるのではないかと。2018年3月は嘉義、2019年2月は屏東で行われる。これまでは、翌年の開催地のみを発表していたが、今年からは2年先まで開催地を発表することにした。これを機会に、旅行会社でも中南部へのツアーの企画を準備してほしい。

もう一つアピールしたいのが、北回帰線23.5度。北回

帰線は、ちょうど嘉義と花蓮を横断している。北回帰線を辿って地球一周すると、台湾だけがオアシス、グリーンの島になっている。また、北回帰線と言えば、暑いところをイメージすると思うが、涼しい北回帰線もある。そうした台湾の北回帰線の魅力も知って欲しい。

その嘉義には阿里山があり、100年の歴史がある阿里山鉄道がある。また、阿里山には黒森林があり、ドイツと違って嘉義のように緯度の低いところにも黒森林があることは、世界的にも珍しい。そうした貴重な森林資源も紹介したい。

嘉義には、美味しい鶏肉ご飯もある。台湾で人気のルーローハン(肉そぼろご飯)よりも美味しい。なぜなら鶏肉ご飯には、日本でお馴染みのタワシが2枚添えられている。日本の方には、知っているけれどやはりちょっと違う食文化を楽しんで頂けるのではないかと。

■「客家ロマンチック街道」

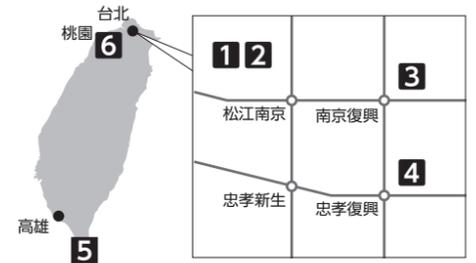
「客家ロマンチック街道」は、桃園平鎮から台中新社まで約150kmに及ぶ街道で、客家の先人達の歴史や文化などが色濃く残っている。団体客なら新竹西部の「北埔」、FITなら「南庄」がお勧め。とくに南庄はロハス、スローツアーに適したところと言える。

客家の里には、「5月雪」と呼ばれる白く可憐なアブラギリの花が咲く。そこで飲まれるのは客家名物の「擂茶」で、台湾料理とはひと味違った客家グルメも楽しめる。綺麗な景色があり、ローカル鉄道の旅も楽しめる。

今後、台湾観光の新たな切り口として、客家ロマンチック街道を強くPRしていきたい。

台湾でここだけのユニークなホテルを展開 上質なサービスで忘れられない体験を提供

台北のグロリアプリンスホテル台北をはじめ、グロリアレジデンス、HOTEL QUOTE Taipei、HOTEL PROVERBS Taipei、また台湾南部の屏東県にグロリアマナーの5軒のホテルを運営するグロリアホテルグループ。創業以来、45年間にわたり「心を込めたおもてなし」を企業理念とし、質の高いサービスを提供している。最近ではレストラン、百貨店、アウトレットショッピングモールなどを開業。また不動産管理、高級マンション経営など、幅広いビジネスを展開している。



① グロリアプリンス ホテル 台北



1970年の創業以来、質の高いサービスを提供 2001年よりプリンスホテルチェーンに加盟

台北市の中山区、MRT雙連駅と中山国小駅からほど近い、便利な場所に位置するグロリアプリンスホテル。1970年のオープン以来、国際レベルのクオリティを備えたホテルとして、ビジネスや観光で台北を訪れる人たちに快適な宿泊を提供している。2001年には、西武グループと業務提携し、プリンスホテルチェーンに加盟。多くの日本人旅行者を受け入れている。

グロリアプリンスホテルは、総客室数220室のうち、ツインルームが110室。客室は7つの異なるタイプを備えており、デラックスルームで広さ26㎡以上。天井も高く、広々しており、シンプルで心休まるデザインが特徴だ。サービスにおいてはスタッフの「お客様のために心から」という精神で、ほかでは味わうことのできない素

敵な滞在を提供している。

ビジネスセンターでは無料のWi-Fiが利用できるほか、各種ビジネス設備や会議施設を完備。また大小さまざまな宴会場も備え、国際会議、企業のセミナーやトレーニングなど、各種パーティーなども開催できる。



正統派の広東料理、本場の点心「九華樓」
「九華樓」のシェフチームが得意とするのはアワビ、ナマコ、フカヒレなどを広東風に調理した高級料理。味覚はもちろん、五感で楽しめる広東料理や点心を味わえる。

手作り素材のおいしさにこだわった「驢子レストラン」
季節の新鮮な食材、自家農場で栽培した野菜など、こだわりの素材を使い、ほかでは味わうことのできない料理の数々を提供する。

② グロリアレジデンス



暮らすように旅する 長期滞在のビジネスマンや小さな子供がいるファミリーに

グロリアレジデンスはレジデンスタイプのホテル。リビングルームとベッドルームがセットになっており、43㎡~157㎡と広い客室なのが特徴で、ビジネス客を中心とした長期滞在や小さい子供がいるファミリーなどに最適な施設だ。場所は「台湾の表参道」と称される林森北路商業エリア。ひと際目を引くシンプルなデザインが、都会の風景と見事にマッチしている。

現在ビジネス客を中心とした長期滞在に利用されているが、1日単位での利用も可能。客室にはキッチン、洗濯機、アイロンなど、生活に必要な設備を完備。内装は天然の木材を使用したあたたかい雰囲気の特徴で、滞在者が落ち着いてくつろぐことのできるプライベートな空間を



演出している。AV設備を配したエンターテインメントルームや交流ラウンジ、室内温水プールなどのパブリック施設を備え、まるで我が家にいるようなリラックスした滞在をすることができる。また、「The Lounge」では、バラエティに富んだ朝食も楽しめる。

③ HOTEL QUOTE Taipei



シックで自由なテイスト、独自の風格

台北市の繁華街に位置するHOTEL QUOTE 台北は、MRT台北アリーナ駅1番出口から徒歩約5分、MRT南京復興駅6番出口まで徒歩約8分、台北松山空港まで車で約5分とビジネスにも観光に利用しやすいロケーションだ。HOTEL QUOTE 台北はだれでも親しみやすい雰囲気の中に独自の個性と風格を備え、他では味わえない宿泊体験を提供している。



木と金属だけを使った独特なデザインのブティックタイプのこのホテルは全64室。女子旅やカップル向けにもおすすめだ。またHOTEL QUOTE 台北は国内外のさまざまな賞も受賞している。

333 RESTAURANT & BAR
独自のテイストを備えた空間では、軽食やカクテル、各種ドリンクなどが楽しめる。

④ HOTEL PROVERBS Taipei



おしゃれな外観と情熱的な空間設計

台北市の中心地、東区SOGO忠孝館の後ろという便利なロケーションに位置するHOTEL PROVERBS 台北。市内の中心地に颯爽とそびえ立つおしゃれな外観が印象的なブティックタイプのホテルで、Design Hotels™に加盟しており、スターウッドのspg提携ホテルだ。HOTEL PROVERBS 台北の客室は42室。客室はどれも独創性に富み、おしゃれな空間でありながら、「家」の持つ温かさも表現。ルーフトッププール、会議や宴会に利用できるマルチファンクションルームなどの施設も完備している。



レストラン「TK SEAFOOD&STEAK」
乾燥熟成した牛肉を焼き上げた最高級のステーキや、漁港から直送したシーフードなど、明るく開放感溢れるダイニングスペースで台北東区屈指のステーキ&シーフード料理を存分に満喫できる。



バー「EAST END」
日本人の有名バーテンダー上野秀嗣氏が世界で唯一提携しているバー。2016 DIAGEO WORLD CLASS台湾地区大会で優勝&準優勝の快挙を遂げている。

⑤ グロリアマナー



かつての蒋介石の行政施設を改装 自然と共存した墾丁の高級リゾートホテル

墾丁国家公園森林レジャー区に位置するこのホテルは、「自然との共存」という概念に基づいて設計されており、遠くに大尖石山を望み、社頂自然公園やハナジカの育成保護区など観光スポットにもほど近く、墾丁の魅力も存分に満喫しながら自由なスローライフ満喫できる。

客室はスイートルームを含めて全60室。大尖石山を正面に臨む屋外プールや、スイスの高級コスメブランド、ヴァルモン(Valmont)のスパなど、台湾のゆったりとしたリゾートが体験できる。



レストラン
「いつでも新鮮なものを」の理念のもと、厳選した産地直送の食材を使用。五感で楽しめる新しい概念の台湾美食を提供する。



ラウンジ「沐」
美しい景観を眺めながら軽食やドリンクで過ごすつらつらのひととき。夜はアルコールのグラス片手にリゾート気分を満喫できる。

⑥ グロリアアウトレット

台湾で最初のアウトレットショッピングモール

グロリアアウトレットは台湾で最初のアウトレットショッピングモール。台湾新幹線桃園駅に近く、桃園空港MRT:A18駅出口からすぐアクセスも便利。多くの国際ブランドを取り揃えた台湾で唯一のアメリカンタイプのオープンエアのアウトレットモールで、最新の流行アイテムをはじめ、アパレルや日用品、アクセサリや子供服など、幅広いラインナップのほか、カフェやレストランも充実。新しいショッピングスポットとして注目されている。



エイビスレンタカー (AVIS RENT A CAR)

台湾特集

時間にとらわれることなく、自分のペースで自由に移動できるレンタカーを使った旅行。リピーターの多い台湾(台北)では、「運転手付きレンタカー」を利用して、VIP気分ですと味違った台北を満喫することができる。旅行会社のコミッション率も高く、手配もウェブサイトで入力するだけ。空港送迎から観光名所を巡るプランまで、多数のプランが提案できる。



もっと自由に、ちょっとリッチに ワンランク上の自分だけの台湾(台北)を提案

AVISレンタカーの「運転手付きレンタカー」のメリット

世界のAVISブランドだから安心!

世界のプレミアムレンタカーブランドのAVISレンタカー。各種VIP向けに始めた運転手付きレンタカーサービスが日本からは格安で利用できる。

高いコミッション率

旅行会社のコミッション率は10%。旅行会社専用のウェブサイトがあるので、わずか数分の手配で、コミッションが発生。通常のレンタカーよりも手数料が多くなることも。

上級者にも高い満足度

車でしか行けないような場所や、現地を効率よく回りたい人に「運転手付きレンタカー」はお勧めの移動手段。また小さな子どもがいるファミリーなど、移動に不安がある時にも最適。

Wi-Fi無料、搭乗者傷害保険込み

車にはWi-Fiが搭載されており、無料で利用できる。移動時間をより快適に過ごすことができる。また、搭乗者保険込みなので安心。

同じドライバーで安心

レンタル中は同じドライバーが案内。タクシー利用時のトラブルが発生することもない。また、人気の九份など、郊外の観光地では、タクシーが拾えなくなることも。「運転手付きレンタカー」なら安心して自分のペースで観光が楽しめる。

現地でのご利用はとても簡単

利用の手順

1 ドライバーがお出迎え

空港到着後、バゲージクレームエリアを出たところに、AVISの運転手が予約者の名前の入ったネームプレートを持って待機(ホテルでのピックアップの場合は、ロビーにてお出迎え)。



2 お客様の確認

予約者の本人確認は、パスポートを見せるだけでOK。

3 お車をご用意

本人確認が終わると、運転手が車を持ってきて、指定された場所で待機(基本的には一番近い出口)。



4 観光中

観光中ドライバーは近くの駐車場で待機。(近くに駐車場がない場合は、少し離れた駐車場で待機する場合もあり)。車を降りる際は、出発の時間をドライバーと確認。

5 利用後の手続き

最終目的地に到着後は、利用確認の署名をして終了。追加料金がある場合(延長料金など)は、クレジットカードにて支払い。



商品プラン一例

① パワースポット巡りコース

恋愛、健康、学問のパワースポットを楽しんだ後、大型スーパーでショッピング♪

所要時間:約4時間

料金:スタンダード(乗車可能人数4名)¥16,700
ミニバン(乗車可能人数6名)¥19,000

▼台北霞海城隍廟(月下老人)

運命の人を赤い糸で結ぶとされている恋愛成就の神様「月下老人」が祀られているお寺。

▼大龍同保安宮

宋の時代の「医学の神様」保生大帝が祀られており、健康や長寿にご利益があるとされるお寺。

▼龍山寺

台北市内で最も古い1738年に建立されたとされるお寺。祀られている神様は実に100以上。台北でも一番のパワースポット。



▼カルフル

食料品、電化製品、台湾コスメ、台所用品など、なんでも揃う総合スーパー。

② 台北観光と九份コース

台北郊外の名所を効率的にまわり、人気の九份へ。

所要時間:約8時間

料金:スタンダード(乗車可能人数4名)¥32,300
ミニバン(乗車可能人数6名)¥34,700

▼故宮博物院

世界四大博物館の1つ。台北市の北部に位置する中国の歴代の皇帝によって集められた美術品を所蔵する博物館。

▼忠烈祠

台北市内北部にある辛亥革命や日中戦争などで戦没した約33万人の英霊を祀る祠。毎時行われる衛兵交替式のセレモニーが有名。

▼黄金瀑布

台北から約1時間。周辺の鉱山の成分による科学反応で黄金色に輝いているように見えることから黄金の滝と呼ばれる。

▼九份散策

急な石階段沿いに赤提灯の並ぶノスタルジックな雰囲気が人気の一大観光地。夜景を楽しむため、帰りの時間を気にすることなく、ゆっくりと安心して過ごせる。



その他

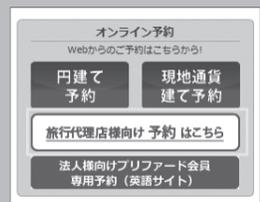
上記以外にも、バラエティに富んだ「観光プラン」に加え、空港からホテルまでの送迎を自分専用で快適に利用できる「空港送迎プラン」や、最短4時間～最長12時間、自分の行きたい場所へ利用できる「カスタマイズプラン」も。詳細は下記ウェブサイトまで。

AVIS 台湾(台北)運転手付きレンタカー専用サイト

<http://www.avis-japan.com/world/asia/taiwan/>

代理店向け予約専用サイト

https://www.avis-japan.com/taiwan_re/newsea/agent_reservations/



AVIS®

予約センター: 0120-31-1911 www.avis-japan.com

